

藤の学び改革を伝える～授業体験会について

新しい学習指導要領の骨子がまとまり、高大接続では新しい入試の名称が「大学入試共通テスト」と決まり、具体的な教育改革の変化の内容も打ち出されてきました。

教育改革の渦中の学年が現在の中学3年生にあたります。2020年度に大学受験をする生徒たちです。その生徒、保護者へ向けての募集活動が今年も始まりました。今回は、私達が中学生に何を伝えているのか、そして、中学生はどのように受け止めているのかについてお伝えします。

本校では、中学生に向けて、①生徒主体で本校の様子、雰囲気伝える「オープンスクール」と、②授業について伝える「授業体験会」を実施しています。これらの機会を通して、学校の雰囲気を知っていただくとともに、学び改革と学校にいる時間で最も長く時間を費やす授業時間がどうなのかについて伝えることは、高校選択の中でとても重要なポイントだと考えています。

7月16日(土)に第1回目の授業体験会を実施し、100名を超える中学生、約70名の保護者が参加してくださいました。

藤の学び改革 Fuji Learning を徹底的に解説する

「学び改革解説」では、①社会の変化と学びの変容について、②学び改革の3本柱《70分授業、DEタイム、PDCAシステム》について、③学び改革の成果について、の3つを中心に解説します。限られた時間の中ですが、一方的な解説はこれからの時代にそぐわない手法ですので、質問を投げかけ考えて答えてもらう、そんな双方向のやりとりの時間も入れながら進めます。参加する側が主体的に関われるプレゼンの仕方が求められる時代になって来ました。学び改革も4年目を迎えましたので、「その結果どうなったの?」という



成果で評価される段階に入ってきています。これまでも紹介してきた模試や英検などでプラスの結果が出てきていますので、できるだけ強調しています。学び改革でこれだけ成長できるんだ、これだけ伸びるんだ、ということが伝わるのが重要だと考えています。

藤の学び改革 Fuji Learning を体験する

参加した中学生には、6つの授業(国語、世界史、英語、英会話、数学、保健)から2つを体験してもらいました。授業のポイントは、アクティブラーニング型授業です。つまり、受け身ではなく、学習者が自ら考える授業です。中学生が考えるにあたって、本校生徒がサポートをします。例えば、国語では「パッと!楽しくまとめる～要約なんか怖くない!」と題して、有名な文学作品をこの授業で結成したチームでしか思いつかないような面白いオリジナルタイトルをつくる授業です。また、英語では、iPadを使い、実際の授業で使っているアプリを活用して、単語クイズをゲーム

感覚で体験してもらいました。参加者の目の輝きが印象的です。



藤の学び改革 Fuji Learning の必要性を保護者向けに解説する

保護者に教育の方向性が大きく変わること、その中での本校の取組みはどのような位置づけなのか？について知っていただくことは、これからますます学校選択上、重要なポイントになると考えています。そこで今回は、本校の学び改革のアドバイザーである前田朝輝先生に「21世紀に求められる人材を育てる教育とは」と題して、講演をいただきました。社会が求めるものが変わってきた。それとともに、今までの教育では太刀打ちできない時代になってきたことを、AI（人工知能）の登場を引き合いに出し、社会が求めるものが同じものを創り出すのではなく、独自性のあるものだけが生き残ってゆく時代に変化する。そこで生き残ってゆくには、自ら考え、自ら創造し、自ら発信してゆくことが出来る力が求められる。そのために必要な教育は、自ら学ぶ力をつける教育である、藤の学び改革はそういったことを踏まえて進んでいる教育だということを、解説していただきました。これまでの教育は、教師が一方的に教えており、保護者の世代はまさにその教育の渦中の世代です。だから、保護者にも発想を転換することを理解してもらうことが必要だと考えての企画です。

また、本校のPTAの協力を得て、参加保護者と情報交換をする場を設けました。受験を考えている保護者にとっては、安心できる情報が得られたようです。



緊急開催！
「保護者向け学び改革入門講座」
2017年9月16日（土）
9:00～11:30
詳細は本校HPをご覧ください。

*今回おこなった前田朝輝先生講演資料があります。ご入用な方は、本校までご一報ください。

アンケート結果より

アンケートによると、概ね満足をしていただいたようです。すべての参加者から「とても満足」「満足」と答えていただきました。生徒からは、「先生や先輩が優しく接してくれて不安がなくなった。授業も楽しく明るい感じがする。」「今回だけでは知ることができなかったのも、OSにも行きたい」、保護者からは「学び改革と校風に関心があり参加。OSにも参加したいと思うぐらい期待通り。生徒の表情・様子にも好感をもった。」「もう少し授業を見たかったが、講演もとても勉強になった。」などの声をいただきました。

参加者に満足いく内容と伝え方の工夫を続けたいと思います。